



4/25

大野医師

4月25日、大野医師が一宮奥町公民館にて奥町連区女性の会に招かれ「心筋梗塞から大切な命を守るために」を講演。心筋梗塞にならないための生活習慣なども含めてお話をしました。



6/17

大野医師

蒸し暑い日となった6/17。大野医師が千秋町公民館に引き続き、丹陽町の五日市場公民館で心臓を取り巻く血管の仕組みや、心臓カテーテル検査の詳しい説明の他、万が一心肺停止となったとき救急車が到着するまでに家族ができることなどを詳しく解説。



6/23

青山医師

脳神経外科副部長兼脳卒中診療科科長の青山医師からは小信中島地区の「小信中島つどいの里」にて脳卒中や、くも膜下出血などについて講演。参加者は100名ほど。皆さんの関心の高さが伺えました。



6/8

大野医師

千秋町公民館では6月8日大野医師が心筋梗塞の重要性や予防方法も含め講演。一宮西病院からもっとも遠い場所での講演でしたが当日は150人以上の地域の方々が来られました。



6/24

宮崎医師

脳神経外科部長の宮崎医師は「開明老人いこいの家」にて脳神経外科全般について講演。いつもわかりやすく優しい口調の宮崎医師。病気のことでだけでなく西病院はリハビリのスタッフも多くそれぞれの症状に合わせた回復リハビリが可能なのもはっきりとお伝えしていました。この日は当院スタッフがほとんど入れないほどの満員でした！



社会医療法人
杏嶺会

一宮西病院

住所 〒494-0001 愛知県一宮市開明字平1番地

電話番号 0586-48-0077

ホームページ http://www.anzu.or.jp

社会医療法人杏嶺会ブログ

あんずぶろぐ

http://kyoryokai.blog48.fc2.com/

こちらのQRコードからご覧いただけます。



アプリコット通信

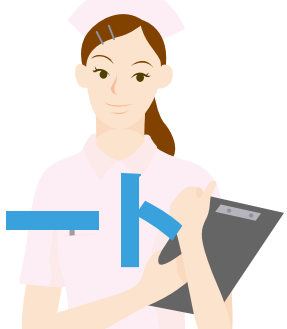
地域の皆様と病院をつなぐ 一宮西病院情報誌

vol.8 2011年7月15日発行
[発行] 社会医療法人杏嶺会 (きょうりょうかい)

apricot news



新チームで心臓手術スタート



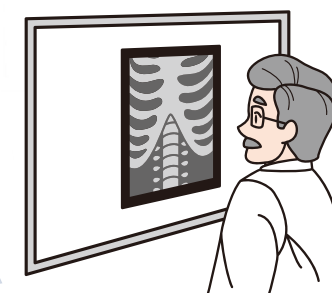
2011年5月9日、心臓血管外科では、待望の「心臓手術」を新チームで開始しました。

新チームには小柳医師、星野医師に加え、この5月から真鍋医師が仲間入りしました。今春まで静岡の病院で、大動脈解離の緊急オペをバリバリこなしていた、即戦力のあるドクターです。さらに体外循環技士(臨床工学技士)も増員となりパワーアップしました。手術室・ICU・病棟の看護師さんたちもそれぞれ勉強会を開催し、スキルアップしています。

この新チームで満を持して第1例目の手術、2枝冠動脈バイパス術に臨みました。手術はうまくいき、術後の経過も順調で、患者さんは現在、元気にリハビリに励んでいます。

その後も手術予定は入っており、地域のニーズをひしひしと感じます。心臓手術で地域に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

心臓血管外科統括部長 小柳俊哉



新任ドクターのご紹介



心臓血管外科

真鍋 秀明医師

まなべひであき

経歴 岐阜大学卒業 (H12年卒)
岐阜大学第一外科
豊橋東病院
郡上市民病院
岐阜大学高次救命治療センター
静岡医療センター

資格 心臓血管外科専門医
日本外科学会専門医

メッセージ Message

一人でも多くの患者さんを救えるよう頑張ります。また、患者さんが本当に必要とする医療を提供できるように努力いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

女性健診のすすめ

3人に1人は一生のうち一度はがんと診断される現代。そして、その死亡率は年々上昇傾向にあります。がんにもさまざまながんがありますが今回は女性特有のがんについて調べてみました。

子宮頸がん

子宮頸がんの初期はほとんどの方が自覚症状がないということもあって、子宮頸がん健診をしたことがあるという方は少ないようです。子宮頸がんの最大の予防は健診で早期発見することです。早期発見・早期治療できれば、**妊娠・出産も可能です**。子宮頸がんの細胞診検査は3,000円で受けられます。超音波検査は3,500円です。検査自体はすぐ終わりますし、痛みも伴いませんのでこの機会に受診してみたいいかがでしょうか。詳細は健診センターまでお問い合わせください。

一宮西病院2F健診センター tel:0586-48-0088

乳がん

乳がんにかかる人は年間5万人!!!また毎年12,000人が乳がんが原因で命を落としています。また16人に1人は乳がんにかかるという統計が出ています。30年前から考えると2倍に増えています。乳がんが多いのは40代ですが、だからといって「若いから大丈夫」というわけではありません。24歳の女性が主人公の「余命1ヶ月の花嫁」という映画が話題になったのは記憶に新しいところですね。しかしながら、日本における乳がん健診の受診率は欧米に比べてまだまだ低く20%前後となっています。乳がんもまた、早期発見・早期治療で、治るがんのひとつです。「私のがんになるわけない」と思わず、毎月のセルフチェックはかかさず、健診などで毎年チェックしましょう。一宮西病院では、健診センターにて乳がん健診を行っています。マンモグラフィーを扱うのは女性の放射線技師です。リラックスして受けましょう。

参考資料:国民衛生の動向2008

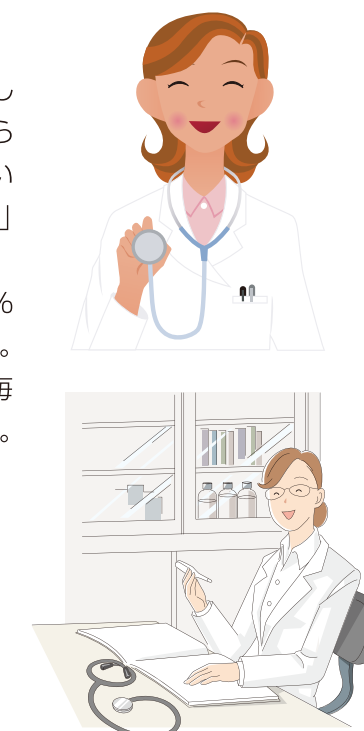
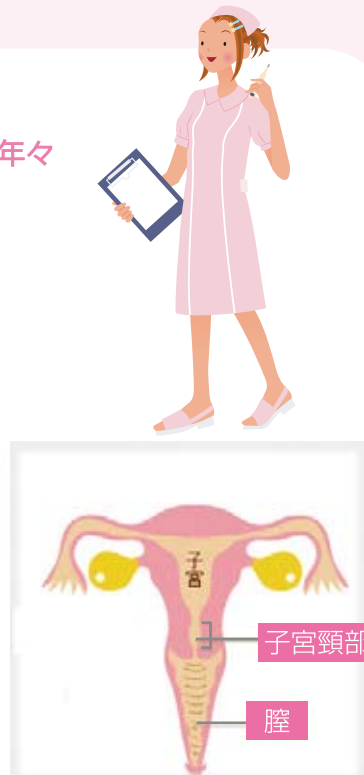
Q マンモグラフィーって痛いの?

A 痛みは人それぞれです。当院にはマンモグラフィーの認定放射線技師が2人います。勉強会や講習や試験を受け、検査に従事しています。小さな異常も見逃さないように頑張っていますので安心してくださいね。

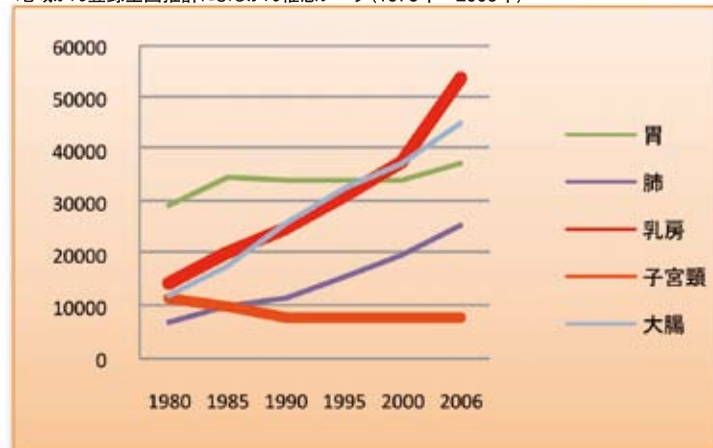
マンモグラフィー 4500円
超音波検査 3500円

健診センターでは子宮頸がんや乳がんの検査の他にも心臓ドック・脳ドック・メタボ健診や通常の人間ドックなども行っております。詳細は健診センターまでお問い合わせください

一宮西病院2F健診センター
tel:0586-48-0088



地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975年～2006年)



参考資料:厚生労働省がん研究助成金「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成16年度報告書



熱中症予防には

熱中症を予防するには、こまめな水分補給だけでなく塩分も同時に補給しなければなりません。手軽なのはスポーツドリンクや麦茶と梅干などです。

また、熱中症は屋外で発症すると思われがちですが、高温多湿な部屋の中でも起こります。体温調節機能の悪い高齢者や乳幼児だけでなく若い世代でも暑い所とエアコンの効いた涼しい部屋を行き来すると、急激な気温変化に対応するために自律神経が疲れてしまい、夏バテなどの体調不良を起こし、熱中症にかかりやすくなるそうです。また寝不足や下痢、二日酔いなど体調次第で熱中症は起こりやすくなります。熱中症が疑われる場合には、涼しい場所に避難させ、服をゆるめて体を冷やしてください。「意識がない」「返事がおかしい」「全身が痛い」などの症状があれば、救急車をすぐに呼んでください。

熱中症について しっかりとした対策を!

例年に比べ暑かった昨年は熱中症で救急搬送される方が例年より多く見られました。

今年も昨年ほどではありませんが、例年より気温が高いと予想されています。さらに今年は全国的に節電が叫ばれていますので熱中症には十分な注意が必要です。様々な暑さ対策グッズが市販されて出ているので個人個人でそれらを活用し、**熱中症を予防しましょう!**

おススメは水を含ませるだけで冷たくなる冷却スカーフ。頭や首に巻けば、心地良い冷感が続きます。水を含ませるだけなので、いつでもどこでも冷感を復活させることができます。何度も繰り返し使えるのでとても経済的です。



救急科部長 井上卓也

夏の簡単レシピ! 夏を乗り切ろう!

暑い夏は食欲が低下しがち。しかし、冷たいものばかり食べていては夏バテの元。体力消耗しがちな夏だからこそバランスのとれた食事をするのが大切です。そこでおすすめの簡単レシピをご紹介します。栄養科の草間さん考案の【スタミナそうめん】です。作り方は簡単!材料を切ってそうめんに乗せるだけ!



材 料

・うなぎ
・大葉
・みょうが
・きゅうり
・錦糸卵



夏野菜は身体を冷やしてくれます。

良質なたんぱく質源

土用の丑の日

売上不振のうなぎ屋から商売の相談を受けた平賀源内が、昔から「丑の日」に「う」の付く食べ物を食べると夏やせしなと言われていた事から「本日は丑の日」と書いて店先に看板を出すよう勧めたところ、その「うなぎ屋」がたいへん繁盛したので他のうなぎ屋も真似をするようになったという説が一般的なようです。